

**令和 7 年度 九州沖縄農業試験研究推進会議畜産・草地推進部会
草地飼料作研究会 開催要領**

九州沖縄農業試験研究推進会議
畜産・草地推進部会長
(九州沖縄農業研究センター暖地畜産研究領域長)

1. 開催趣旨

「食料・農業・農村基本法」の改正法が令和 6 年 5 月 29 日に成立し、食料安全保障の強化、環境にやさしい農業への転換、農業法人の経営基盤の強化やスマート技術を活用した生産性の向上等に取り組むことが盛り込まれている。また、近年の世界情勢の不安定化、地球温暖化、円安による輸入飼料価格の高騰が畜産経営を圧迫している。

このような情勢の中、酪農・肉用牛の生産基盤の強化のためには経営コストの 3～5 割程度を占める飼料費の低減が不可欠であり、国産飼料の高品質化、飼料生産の効率化、耕畜連携などが推進されており、関係者が一体となって生産現場での技術的な課題を解決する取り組みが求められている。そこで、九州沖縄地域における国産飼料生産に関わる研究・行政・普及関係者および現地生産者などが参集し、R6 推進会議草地飼料作分科会等で取り上げた課題や各県の新規課題の検討を行い、今後の展開について協議することとする。

2. 開催日時 7 月 1 4 日（月）13：00～1 5 日（火）12：00

3. 開催場所 福岡県筑紫野市内のホテルを予定および現地（福岡県農林業総合試験場、福岡県筑紫野市大字吉木 587）

4. 議題・内容

第 1 日目：7 月 1 4 日（月）13：00～17：00 （受付開始 12：30）

室内検討会

- 1) 会場県挨拶、部会長挨拶
- 2) 「福岡県における飼料生産の現状と課題」（仮題）
福岡県農林業総合試験場
- 3) R6 推進会議草地飼料作分科会等での検討事項
 - ・ロボット技術、I C T 等を活用した次世代型スマート飼料生産調製技術の開発および実証
 - ・その他
- 4) 気候変動が飼料作物生産に及ぼす影響について
 - 農業における気候変動適応の現状と今後の方向性（九州大学 廣田知良氏）
 - 牧草生産における温暖化の影響（九沖研 池田堅太郎氏）
 - 台風による減収リスクの評価と作付け体系の多様化によるリスク軽減効果の試算事例
(九沖研 加藤直樹氏)
 - 草地飼料畑から発生する温室効果ガス削減の取り組み（仮題）（九沖研 後藤慎吉氏）
- 5) 試験課題設計検討
 - ・今後の新規設計課題に関する検討
- 6) 研究成果情報の事前検討
- 7) その他

第2日目：7月15日（火）8：30～12：30

現地検討会

1）福岡県農林業総合試験場で現地検討

・集合・解散場所・時間：8:30 に JR 二日市駅 西口付近

12:30 に JR 二日市駅で解散

5. 参集範囲 九州・沖縄各県試験研究機関及び行政普及部局、九州農政局、沖縄総合事務局、家畜改良センター、大学、農研機構研究機関、その他部会長が認める者

6. 参加申込み・問い合わせ先

＊「参加申込み」は別紙に記入の上、7月1日（火）までに下記宛 FAX または E-mail でお申し込み下さい。

九州沖縄農業研究センター 暖地畜産草地研究領域 飼料生産グループ

TEL（代表）096-242-1150、FAX：096-249-1002、

（ダイヤルイン）096-242-7755 or 7754

E-mail：takai.tomoyuki887@naro.go.jp

7. 資料の作成依頼

資料の作成依頼については、別途「事務連絡」にてお知らせいたします。